

データドリブン・コミュニケーションセミナー2020

日時 2020年2月26日(水) 13:00~17:00 (受付12:30~)

会場 トップフォームズ

1階多目的ホール

(〒105-8311 東京都港区東新橋1-7-3)

<最寄駅>

・JR・東京メトロ銀座線・都営地下鉄浅草線 <新橋駅> 徒歩約8分

・都営地下鉄大江戸線 <汐留駅> ゆりかもめ方面 8番出口 徒歩約2分

・東京臨海新交通ゆりかもめ <汐留駅> 徒歩約2分

※駐車場のご用意はございませんので、ご了承ください。

参加費用 一般:8,000円(税込8,800円)、DM協会会員:5,000円(税込5,500円)

申込締切 2020年2月14日(金) ※参加費は2月18日(火)までにお振込みください。

申込方法 お申込みフォームに必要事項を入力の上、送信してください。
お申込みが正しく受領されると、申込時のE-mailにお振込み等のご案内を送信いたしますので、期日までにお振込みください。
参加費用のお振込みをもってお申込みが正式に完了となります。

お申込みフォームは
こちらのQRコードから
アクセスできます。



お問合せ先 一般社団法人日本ダイレクトメール協会

TEL:03-5541-6311 Mail:seminar@jdma.or.jp

講演スケジュール (講師名は敬称略)

基調講演 デジタル時代のダイレクトメールを考える

13:10

14:10

近年、消費者を取り巻く情報環境は驚くべきスピードで変化しています。特に、スマートフォンを中心としたデジタル媒体は、かつてでは考えられないほどに大きな存在感を放つようになってきました。こうした市場環境において、ダイレクトメールにはどのような効果や役割が期待されるのでしょうか。本講演では、産学共同の実証実験の結果に触れながら、デジタル時代のダイレクトメールのあり方について検討していきます。



成蹊大学
経済学部 准教授

石井 裕明

事例紹介 ドイツポストとヤマトにおけるトリガー起点DMの最新事例

14:20

15:20

ドイツポストはドイツ国内でMA連動型のダイレクトメールソリューション「トリガーダイアログ」を法人向けに提供しており、4年間で150社以上の企業が導入・活用しています。本講演では、ドイツポストとヤマトグループの合併企業であるヤマトダイアログ&メディアが、ドイツ国内におけるデータドリブンなDMの成功事例と、データを最大限に活用したダイレクトメールの現在と将来に向けた展望についてご紹介します。



ヤマトダイアログ&メディア株式会社
事業戦略部 トリガーダイアログ・
プロダクトマネージャー

東野 文武

スペシャルセッション デジタルの価値×DMの価値=コミュニケーションの未来 3人のプロフェッショナルが見据えるデジタルとリアルとが実現する社会とは!

データドリブン時代、IoT技術の進化により様々なツールとネットワークとが繋がり、企業は様々なシーンの多様なデータを取得できるようになりました。デジタルを中心に日々新たなサービスが開発・提供され、私達の生活を豊かにしています。ではリアルの世界ではどうでしょうか?生活者目線では不可分であるデジタルとリアルとが融合することで私達の生活がどのようになるのか?その中で果たすことができるダイレクトメールの役割、価値とは?デジタルとアナログを牽引する3名のプロフェッショナルが語ります!

15:30

17:00



イーリスコミュニケーションズ
株式会社
エグゼクティブプロデューサー
鈴木 睦夫

P&Gに入社後、NTT/IMJ/コカ・コーラにてマーケティングおよびデジタルマーケティング領域を担当。デジタルコミュニケーションの限界を感じてからは日本郵便に転じ、多くの講演やメディアにてデジタル×アナログの重要性を訴求する。2018年7月に独立し、現在はイーリスコミュニケーションズ株式会社にてエグゼクティブプロデューサーを務める。



株式会社スマートドライブ
ビジネス開発
石野 真吾

Sansanへ入社後業務企画のマネージャーとしてテクノロジーを活用した業務改善や営業企画を行った後、Sansanのマーケティングの仕組み作りを立上げ推進。株式会社マルケにてセールス&マーケティング分野におけるテクノロジーの活用や新しいテクノロジースタック開拓を推進。その後、Adobeにて新製品の日本展開のPMMを担った後、株式会社スマートドライブでモバイルデータに関するビジネス開発を担当。



トップフォームズ株式会社
マーケティング部部長
菅沼 満

1997年デジタルメディア事業部門にて、DMにID、パスワードを印字しWebのパーソナルページと連動する「サイバー DM システム®」を開発しビジネスモデル特許取得。その後、国内最大級5万点のDMライブラリに加え、ダイレクト・コミュニケーションに関わる科学的な調査・分析・コンサルティング機能「LABOLIS®」を運営。現在はB to Bマーケティングを担当するとともに日本DM協会の業務執行理事を務める。

※上記講演内容・講演順は一部変更になる場合がございます。予めご了承願います。